

「J-クレジット」 創出・活用先進事例」 オンラインセミナー

経済産業省
関東経済産業局

令和5年度国内における温室効果ガス排出削減・吸収量認証制度の実施委託費
令和5年度「J-クレジット」関東地域ネットワーク

「J-クレジット創出・活用先進事例」
オンラインセミナー

Web配信
セミナー

2023年12月7日(木) 13:30~16:00
オンライン開催 (Microsoft Teams meeting)

【主催】関東経済産業局 【共催】近畿経済産業局

J-クレジット制度は、「省エネルギー設備の導入」「再生可能エネルギーの導入」及び「適切な森林管理」等の取組による、温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証し、他の事業者へ売却できる制度です。

関東経済産業局及び近畿経済産業局は、J-クレジット制度の支援関係者との連携を強化し、J-クレジット制度の普及促進やクレジットの需要に繋げるため、自治体等を対象としたオンラインセミナーを開催します。具体的には、全国のJ-クレジット創出・活用にかかる先進モデル事例をご紹介します。

対象者
全国の自治体、産業支援機関、金融機関、組合等のJ-クレジット実務担当者 等

プログラム

1. 開会挨拶
関東経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・資源循環経済課
2. 発表
 (1) 【再エネ(太陽光)/創出・活用/プログラム型/市民参加型事例】京都市
 (2) 【農業/創出/水稲栽培の中間し期間延長による水田メタン削減事例】株式会社クボタ
 (3) 【森林/創出・活用/地元企業との官民連携による地産地消事例】和の会
 (4) 【森林/創出/デベロッパーと自治体との官民連携事例】ENEOS株式会社
 (5) 【その他/活用/産官金連携/地方銀行を通じ地元企業と連携した地産地消事例】株式会社山陰合同銀行
 (6) 【その他/創出・活用/他の自治体・企業との広域連携による脱炭素社会モデル「ソーシャルクレジット」創出のための官民共創プラットフォーム】伊丹市
3. 閉会挨拶
近畿経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課

※質疑応答は【各発表の直後のみ】行います。ご質問は司会から案内後、音声「オン」にしてご発言ください。

カーボンオフセットを
活用した地方創生事例

イベント概要

日時:12月7日(木)13:30-16:00
形式:オンライン(Microsoft Teams)
対象:自治体・支援機関向け
主催:関東経済産業局 共催:近畿経済産業局
○事例紹介
【再エネ(太陽光)/創出・活用】京都市
【農業/創出】株式会社クボタ
【森林/創出・活用】和の会
【森林/創出・活用】ENEOS株式会社
【その他/活用】株式会社山陰合同銀行
【その他/創出・活用】伊丹市

イベント結果

セミナーには272人の方にご参加いただき、質疑応答時には聴講していた自治体や支援機関の職員から活発に質疑応答が交わされました。

イベント終了後も聴講者から登壇者へコンタクトが行われる等の動きも出ています。

参加者の声

- ・ 数値データやVOC削減のノウハウが具体的であり、非常に参考になった。
- ・ 事例を参考にして、試行錯誤しなければならなかった。

関東局・近畿局との連携の元、全国からJクレジット制度を活用した地方創生事例を紹介するオンラインセミナーを開催しました。

※J-クレジット制度・・・省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

